

## 昇段級審査会（春と秋の2回）



目指せ黒帯！「継続は力なり」

## 夏合宿



バーベキューや公園遊びで楽しみがいっぱい。  
夏合宿恒例の道場大会は盛り上がります。

## 各種大会



地域の大会から全国大会まで出場。同志館では多くの選手が活躍しています。



## 道場案内

### ● 同志館本部／壬生道場

〒604-8822 京都市中京区壬生辻町 38  
TEL 075-801-2697 090-5247-3249 (三井)

### ● 同志館愛知支部／愛知道場

〒466-0853 愛知県名古屋市長和区川原通 2-12-1  
TEL 052-753-0120 090-3151-1949 (山内)

### ● 同志館宇治支部／小倉道場

〒611-0042 京都府宇治市小倉町西山 44 伊勢田ふれあいセンター  
TEL 0774-22-1503 (ふれあいセンター) 090-3998-3403 (小倉)

### ● 同志館スイトピア空手教室

〒616-8102 京都市右京区太秦森ヶ東町 18 (株)スイトピア  
TEL 075-881-7999

### ● 同志館スイトピアアクオン空手教室

〒604-8812 京都市中京区壬生相合町 25-4 スイトピアアクオン  
TEL 075-803-1117

### ● 同志館亀塾

〒621-0008 京都府亀岡市馬路町溝ノ上 14-4 亀岡川東学園体育館  
TEL 0771-20-4925 (小森宅) 090-5903-9313 (小森)

### ● 同志館西宇治道場

〒611-0021 京都府宇治市伊勢田町南山 21-1 西宇治中学校  
TEL 0774-20-1993 (小倉宅) 090-3998-3403 (小倉)



練習日 / 入会システム / 月会費は各道場によって異なります  
各道場にお問い合わせください

剛柔流空手道

同志館

Since 1948

剛柔流空手道



同志館

京都市中京区壬生辻町 38 TEL/FAX 075-801-2697  
<http://www.doushikan.com/>

## 剛柔流空手道

空手は琉球（沖縄）を発祥の地として、中国拳法の影響を受け発展しました。地域と技法の差から那覇手なはて しゅりてと首里手に分類され、那覇手の代表的な流派が剛柔流です。

那覇手の先駆者、東恩納寛量（1853～1915）に師事した宮城長順（1888～1953）が昭和5年に「剛柔流」と命名しました。宮城長順は長年の研究に基づき体育的次元に立脚した合理的な練習体系を確立し各地で剛柔流の普及、発展に貢献しました。

形は初心者を対象に創られた撃砕第一、撃砕第二をはじめ12の形を伝承しています。

組手では接近戦を想定した、体の使い方、攻防の技があり、円を描く、軟らかい動きが特徴です。

〔形の名称〕三戦、転掌、砕破、制引鎖、三十六手、四向鎖、十八手、十三手、久留頓破、壹百零八手

## 同志館

同志館は昭和23年に小泉喜英（1925～2008）が創設した、京都で最も古い道場です。終戦間もない貧しい時代に、青少年の育成が必要であるとの信念で空手道の普及と発展を目指して「剛柔流空手道同志会」として立ち上げました。昭和35年に「同志館」と改称し、小泉喜英が館長に就任。技術の修得と武道としての精神面の修行に力をいれ、多くの門下生を輩出しました。

同志館は創設以来、空手道を通じた人づくりを一番大切にしています。今、まさに子どもたちにとって必要な「力」とは何でしょうか？何事にも負けない強い精神力、困難に立ち向かう勇氣、自分で考える力をつけ、思いやりの心を育てなければいけません。空手道は、身体を鍛えることで健康な体を維持し、礼儀と規律を守る大切さを学びます。同志館では忍耐力と集中力を身につけて、心身ともに強くたくましく「生きる力」を育成できるように指導します。



同志館会長  
ほくはら げん  
朴原 玄

昭和15年1月12日生 中学1年生で空手の稽古を初めて目にした時、大きな衝撃を受け同志会の門をくぐる。以来、小泉喜英のもとで修行し、昭和31年4月には立命館高等学校空手道部に入学し、道場と部活動で空手に没頭する日々を送った。昭和47年空手道部師範を経て、昭和49年5月「同志館壬生道場」開設。京都の空手界発展のために奔走し、その組織確立に多大な貢献をした。平成6年11月小泉より指名を受け「館長」に就任、同志館の道場を増やし多くの選手を育てた。平成27年4月弟子であり、娘の三井喜美代へ館長を継承し、自身は会長に就任。

- ◆平成10年 2月 京都府スポーツ功労賞受賞
- ◆平成18年12月 日体協スポーツ指導者賞受賞
- ◆平成25年 1月 京都市スポーツ功労賞受賞
- ◆全空連公認七段・教士

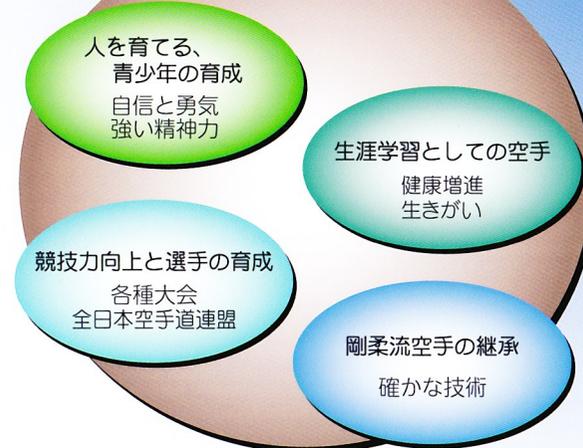


同志館館長  
みつ い き み よ  
三井喜美代

昭和47年6月29日生 朴原玄の三女で4歳より空手を始め、幼い頃より大会に出場し多くの実績を残す。京都市立堀川高校から近畿大学に進学し空手部に所属。全日本大学組手団体戦で近畿大学が初優勝し、その立役者となった。また、姉の幸代、福代とともに団体形で全日本チームにも所属した。結婚後育児と並行して指導を始め、多くの生徒を全国大会に送り出すとともに、合宿、強化練習、練習試合を積極的に行いスポーツとして子どもたちが楽しめる環境づくりに取り組んでいる。指導者、審判員の育成にも力を注ぐ。平成27年4月三代目の同志館「館長」に就任した。

- ◆全空連公認六段・錬士
- ◆日本スポーツ協会 公認空手道上級指導員

## 基本理念



## 練習内容

### \* 少年部（幼児～小学生）



流した汗だけ強くなれる！

挨拶と礼儀を重んじた武道の厳しさと思い切り体を動かす楽しさを教えます。自信と勇氣、思いやりの心を育成。

### \* 一般部（中学生以上～社会人）



新しい自分発見へのスタート！

剛柔流の特長と技術を習得し、健康増進と爽快感を得られます。各自の目的に合ったスタイルで練習。